

会 議 録

会議の名称	令和7年度男女共同参画推進事業（オアシス）助成金審査委員会
開催日時	令和7年 6月23日（月）午後1時30分～3時30分まで
開催場所	和泉市男女共同参画センター（モアいずみ）研修室
出席者	・男女共同参画推進事業（オアシス）助成金審査会審査委員 松田委員、大森委員、久松委員、今岡委員 ・事務局 樋上（人権・男女参画室 人権・男女参画担当課長）、 廣田（人権・男女参画室 人権・男女参画担当総括主幹）、 栗野（人権・男女参画室 人権・男女参画担当主任）
会議の議題	令和7年度「男女共同参画推進事業（オアシス）助成金」交付申請に係る助成金の適否について
会議の要旨	令和7年度「男女共同参画推進事業（オアシス）助成金」交付申請に係る助成金の適否について審議を行った。
会議録の 作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録
記録内容の 確認方法	☐ 会議の議長の確認を得ている ☒ 出席した構成員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）
その他の必要 事項	傍聴人：0人

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

（事務局）

開会宣言及び課長挨拶

「和泉市助成審査委員会規則」による 委員長の選出

委員長により議事進行

「和泉市審議会等の設置及び運営に関する規則」に基づき傍聴者の入室を認めていたが、傍聴者なし

本日の会議の議事録公表については、委員名簿は氏名を公表、本会議の個々の発言の要旨については、単に委員と表記し要点記録とする旨及び最終の議事録作成については、委員長に一任することを全委員了承。

（事務局）

《審査基準表等について説明》

応募団体数(2 団体)及び進行方法(1 団体、説明 7 分/質疑 1 3 分/合計 2 0 分、入れ替え 5 分)審査基準について説明。

【各団体より説明及び委員質疑】

==和泉母親連絡会==

事業名：『気候変動を考える学習集会』

昨年 4 月 27 日に和泉母親連絡会の大会として、気候問題の学習会を元大阪大学の先生、長野八久さんにお話をいただき、この内容を多くの方と深めるために学習会を開催したいと今年度のオアシス事業に挑戦した。

近年、気候に関わる猛暑や山林火災で色々な災害が起こっているが、今の地球環境とどう関わっているのか科学者の立場で説明していただき、私達も正しく理解してどうやって対応していくべきなのか、個人としてできること、あるいは行政に働きかけていくことを、きちんと把握し学習して、行動できるように、もっと市民など多くの皆さんとご一緒にこの問題を考えて幅広く論議したい。

長野八久先生の講演は、地球の環境の水位変化や、これからどこまでいったら人類にとって大変なことになるのかということをわかりやすく多角的なデータを中心に示した内容で、今回はそれを踏まえて、また新しい現在の状況などを、映像を通して説明していただく予定。

和泉母親連絡会の活動を知っていただくため、会場には今までの展示物を展示する。時期は 11 月を予定して

おり、事業費の総額が6万6000円。申請金額は同額。使用料については、コミュニティセンターの大集会室を予定しており、朝の9時から17時。午前中に準備を行い、映像機器の使用料なども考えて予算を組んだ。以上。

(委員) 気候変動を考える学習集会と男女共同参画推進事業が、どう関連するのか。

(和泉母親連絡会) 家庭の中で様々な工夫をしているのが主に女性だと思うので、自分の体で感じた異変をどうやって解決していったらいいのかを、主に女性から知ってほしい。また男性は仕事上の自分のタスクと、個人として感じていることのギャップがあるのではないかと。男性も女性も一人間として、生物として命を長らえるために、それぞれの置かれた立場で何ができるかを男女それぞれの立場で考えられたいと思っている。

男女問わず大人の私達が子どもたちのために気候危機の問題に向き合っていかなければいけない。

(委員) 参加者はどういった方が対象か？

(和泉母親連絡会) 特に限定していない。どなたでも関心のある方に参加していただきたい。

(委員) 年齢も幅広く対象とするならば保育をつけるのはどうか。

(和泉母親連絡会) 入れ忘れていたが、保育ありで実施したい。

(委員) 若いお母さんも参加してもらえようチラシに明記してみてもどうか。

(和泉母親連絡会) はい。

(委員) 2時間半あるが、具体的に討論などまで考えてるのか。男女共同参画の観点から、どういう点に力を入れて発信したいというところがあれば教えていただきたい。

(和泉母親連絡会) 講師自体は大学で若い人を相手に講座をしたり、街中で時事問題について論議をする場

や情報を発信する場を作ったりしている。そういう感覚を持って今回の講座についても、男女共同参画の視点での資料の作り方とか、講演の進め方など今後の打ち合わせの中で説明していきたい。

(委員) 講師はジェンダーの視点からこの環境問題を特に扱ったことはない講師か。

(和泉母親連絡会) 環境問題を専門としている。

(委員) ジェンダーの観点から環境問題を取り上げて、講演なり論文を書いたりということはない講師か。

(和泉母親連絡会) 講師の実績に詳しくないが、「日本の科学者会議」という雑誌の編集長を務めている。

(委員) その雑誌は科学雑誌なので、おそらくジェンダー視点は入ってきにくい。この講師にジェンダー視点をに入れてもらうためにどうするのか。

(和泉母親連絡会) エナジーハウスの問題や、二重窓にするなどの省エネ住宅の話も前回した。家計管理をする女性に、一時的な投資にはなるが（省エネ住宅などが）光熱費の削減しつつ地球の温暖化防止に寄与するという意識を持つことができると思う。また女性でも市・府・国に要望をあげていく運動にしていきたい。私達が母親運動としてやっている女性の地位や平和な暮らしを守ろうという運動にも繋げていきたい。今回のことも気候変動の問題を通じて、私達の暮らしを良くしていく、地球を守るためにという観点を持つことが必要なのかということもこの会の中で見つけていきたい。

(委員) この講演をする講師にどのようにジェンダーの観点を入れるよう依頼するのか、という質問だったがどうか。

(和泉母親連絡会) ジェンダーの観点を入れてくださいと直接的にお願いしたいと思う。話をする中で、私達が求めていることについてご理解いただきたい。

(委員) 当日はこの講師の一方的な講義だけで終わるのか、参加者が男女一緒に何か話し合ったり、ワークショップ的なことも考えているのか。

(和泉母親連絡会) プログラムの中で、講義と休憩を挟んで質疑応答を行うとか、感想を出してもらう時間は必ず取るつもりでいる。

(事務局) ありがとうございました。審査の結果については後日 1 週間前後で郵送します。

== (ローズウッド) ==

事業名：『わたしたちのワークライフインテグレーションの向上に向けて』

昨年に引き続き、ワークライフインテグレーションの充実を図ることをテーマに、新しい企画として 2 案を提案したい。

まず 1 案が子供の育ち応援セミナー、家族間の気持ちの良いコミュニケーション。

私達は過去イクメン支援など夫婦が子育てに参加できるような企画を実施してきたが、当初に比べ、意識が変わってきていると感じると同時に家族間の隙間、距離に違和感を覚えることもある。子供が成長するにつれ、家族とはいえ違う人間とのコミュニケーションは、想像以上に難しいのではないかな。スマホの画面だけで会話をしているような錯覚に陥ったり、生活時間のずれによる共有時間がない、またその過ごし方が結局見つからない。一緒にいる時間でも触れ合いがなくなることで、積極的な感情表現ができない。家族の中で孤独感が増大し、家族の中で起こる問題解決をする能力が低くなるのではないかな。男女平等の意識を高めて、全ての人の人権を尊重し、守ることができるようなコミュニケーションのとり方について、自立心を養い、人と人との良い循環に変わっていける、そんな話を聞けるセミナーを目指したい。講師は同内容の実績のある臨床心理士の大学教授を予定。

次の企画案はアロマ香活へアケア&ハンドケア。

私達のライフワークでもあり、2012 年より長く広く和泉市や他市でアロマを推進し、継続している活動の一つをアレンジした。1 人 1 人のアロマをキャリアオイルで希釈し、自分に今必要なものを考えながら、自分でブレンドし、手と手を触れ合い、髪や頭皮ケアを実際に体験する。相手の手を触り、圧をかけずになでさするというタッチングというもの。

ブレンドするアロマの精油にはリフレッシュやリラックスの効能があることはもちろんだが、なでさすることで痛みを和らげる効果や自律神経の調整、幸せホルモンと呼ばれるオキシトシンが出ることも実証されている。今回はハンドケアと同時に、髪の毛や頭皮に良いブレンドをして、脳の活性化や育毛にも効果的なお話やケアを解説する。

自分をニュートラルに戻してくれるアロマセラピーで、男性も女性も心と体、精神のバランスを整え、健康を維持すること、常に自分らしく生き生きし、恒常性を維持し、個性と能力を発揮できる環境をつくること。それが私達が参加した皆さんに還元できる講座だと考えた。

経費等については、両案とも専門性が高いため、講師謝礼を主体に置いた。チラシ等は格安の印刷を発注できるネットで依頼し、その他費用を抑えた。その他にある参加者に徴収する参加費は、精油・キャリアオイル・容器・希釈液など購入原価。アロマハンドケアは講師を2名としたいところだが、ローズウッドーが皆さんを補助する。

最後に、私達の活動やオアシス助成がきっかけで、幅広い年齢層の方に参加しやすいそして誰もが参加する意味を見出せることができるようなより充実した講座内容を目指し、実施に向けて準備していきたい。

(委員) 「私達のワークライフインテグレーションの充実に向けて」という事業名でその下に①子供の育ち方のセミナー②アロマ香活という二つがあり、二つの事業のように見えるが、どうか。

(ローズウッドー) 私達ローズウッドーが推進していることの中の一つがアロマだったことと、イクメンを推進してきた次のステップに考えたのが一番だった。

(委員) ワークライフインテグレーションの充実というくくりでみると1番2番があるということか？どちらもワークライフインテグレーションではくくれるという考え方か。

(ローズウッドー) はい。

(委員) ワークライフインテグレーションというのはどういう意味か。

(ローズウッドー) ワークライフバランスという仕事と生活両立であったり子育てを夫婦で男女平等の条件でやっていこうという考え方から、自分が充実しているから仕事もスキルアップできる、いろいろなことが向上できるという考え方のこと。

(委員) 私生活の充実を軸にということか。

(ローズウッダー) 私生活がうまくいって充実しているから、仕事もより良く、その延長でうまくいくなど最近よく目にしたり考えが出ている。

(委員) ワークライフのライフがむしろ中心だという考え方なのか。

(ローズウッダー) もちろん仕事もあるが、自分が一番だ（と考えた）方が、家庭や子どものことがありつつも、自分にとってやりがいになり、あらゆることがうまくいくということ。

(委員) ワークライフバランスを一歩前進させて、仕事も私生活の双方も充実した人生を豊かにするという大きな取り組みの中で、一つは子育ての過程でのいろんな問題について疑問を出しながら話し合いをして、子育ての負担がかかっている人たちから参加者を募って、どんな子育てが負担にならないかというのを、男女共同参画の観点も入れて考えていくというイメージをしているがそういうことか。

(ローズウッダー) はい。そうです。

(委員) どのような人たちを対象に、集客を考えているか。

(ローズウッダー) 家族間といえども人と人なので、家族だけでなく隣近所や仕事仲間などあらゆる人に対して気持ちの良いコミュニケーションを図ってもらいたい。専門家の先生の話聞いてもらいたい。

(委員) 子育て中の人だけでなく地域の方なども対象とするのは難しいのではないかな。広く募集することか。

(ローズウッダー) 前回までは年齢の低い子どもたちの集まりが多かったが、今回は年齢層をあげて、親と話せる親子間でこの講座の中で話し合いができるようなものをしたい。

(委員) 子育ての家庭と、一般の幅広い層と両方は、難しいので精査して、どこに視点を置くのか決めてほしい。

(ローズウッドー) 対応範囲を深めてターゲットを絞りたい。

(委員) アロマの参加費 1000 円は何の実費か。

(ローズウッドー) ケアの精油と、ブレンドするキャリアオイルの費用。

(委員) ブレンドしたオイルを持って帰ってもらうということか。

(ローズウッドー) はい。皆さんに 50 ミリぐらい持って帰ってもらう。家でもできるように手順も伝える。
容器や、希釈液もいれて大体 1000 円になる。

(委員) 手のマッサージとヘアケアのオイルは別のものか。

(ローズウッドー) 一緒のもの。両方できる。

(委員) 2 番のヘアケアとハンドケアの内容は内部講師でも十分できる内容ではないか。外部講師を呼ぶのは
どうしてか。内部でできる人に対しても何か学びがもたらされるのか。

(ローズウッドー) キャリアや経験値や豊富な内容があって、私達も勉強するところがあり、私も資格を
持っているが、今回はハンドケアで人手が要る。ローズウッドーのメンバーは補助をする。

(委員) この 2 番の助手交通費の助手というのは講師が連れてくる助手か。

(ローズウッドー) はい。人数が多いので、遠くから来てもらう方にはお渡ししたい。

(委員) アロマはどのような人たちを対象者と考えているか。

(ローズウッドー) (女性はもちろん) 男性もいいと思う。大人や、中学生や小学校高学年の子どもから
参加できる内容。

(委員) チラシはどこに依頼して置くのか。一般の人を広く対象にしてるのか

(ローズウッダー) (1番は) 今回学校にもお願いしたいと思っている。(2番の) アロマに関しては来てくれる方が多いのでそこまで考えていない。

(委員) 参加者 15 名か

(ローズウッダー) 15 名だがそれ以上必ず来ると思う。

(事務局) ありがとうございました。審査の結果は後日 1 週間前後で郵送します。

【委員審査】

(要項 3 条に該当する事業であるか意見交換後挙手にて審査)

一団体目 (和泉母親連絡会) について意見交換

(委員) 一方的な講座講師の話があって質疑応答で終わりではなく、何か参加者同士が話し合ってアイディアを出してもらうなど、委員からの意見をつけてはどうか。

(委員) 男女共同参画の視点で気候変動を考えるなどで話せる講師もいると思うが、この講師で実施するのなら、男女共同参画視点を絶対に入れてもらうことを強く要望して、その中でワークショップなどを行うなどを条件としてはどうか

(委員) 創意と工夫でジェンダーや男女の視点を入れて内容を深めて実施してもらいたい。

(挙手にて審査)

(委員長) 条件付きであるが、要項 3 条に該当する事業である。

二団体目 (ローズウッダー) について意見交換

(挙手にて審査)

(委員長) 全員一致で、要項 3 条に該当する事業である。

【委員審査】採点

(委員長)

(事務局への集計依頼)

(事務局)

(順位・結果発表)

(審査会終了)